

抽 選 方 法 の 説 明

今回申込受付を行った「桜の通り抜け」及び「花のまわりみち」関連製品については、抽選対象数を超える多数のお申込みがありましたので、次のとおり抽選を行います。

なお、当該貨幣セットの申込数については制限を設けず受付を行ったところ、販売予定数を超えるお申込みがあったことから、「桜の通り抜け 2020 プルーフ貨幣セット」、「令和 2 年桜の通り抜け貨幣セット」及び「令和 2 年花のまわりみち貨幣セット」は追加製造を行います。すべてのお申込みに対応することが難しいため、一人当たりの購入数は「桜の通り抜け 2020 プルーフ貨幣セット」及び「令和 2 年桜の通り抜け貨幣セット」は最大 5 セット、「令和 2 年花のまわりみち貨幣セット」は 1 セットに制限しております。

同様に、当該メダルの申込数についても制限を設けず受付を行ったところ、販売数量を超える申込みをいただきましたが、追加製造が難しいことから追加製造は行わず、一人当たりの購入数はそれぞれ最大 5 個に制限しております。

【申込状況及び抽選対象数】

区分	令和 2 年桜の通り抜け 記念メダル(金)	令和 2 年桜の通り抜け 記念メダル(銀)	令和 2 年桜の通り抜け 記念メダル(銅)
申込件数 (申込個数)	895件 (973個)	3,137件 (3,446個)	3,114件 (3,668個)
販売数 (抽選対象数)	400個	2,000個	2,500個
当選倍率	2.43倍 (※1)	1.72倍 (※1)	1.47倍 (※1)

(※1)「当選倍率」は、申込個数を基に計上しています。

区分	桜の通り抜け 2020 プルーフ貨幣セット	令和 2 年桜の通り抜け 貨幣セット	令和 2 年花のまわりみち 貨幣セット
申込件数	25,151件	48,687件	41,335件
販売数	18,100セット	45,300セット	15,200セット
抽選対象数	17,800セット (※2)	44,700セット (※2)	15,192セット (※2)
当選倍率	1.41倍	1.09倍	2.72倍

(※2)「抽選対象数」は、「販売数」から、海外販売用、展示用等を控除した抽選対象となる数量を示しています。

【抽選方法例】(令和 2 年桜の通り抜け記念メダル(銀))

- ① 全ての申込み(はがき及びオンラインショップでの申込み)に「1」から順番に受付番号を付します。なお、オンラインショップでの申込受付は、はがきでの申込みにした最終の受付番号の次から受付番号を付して整理しています。これらの受付番号1,000ごとを1ユニットとし、その順番をユニット番号とします。
- ② 最初に、受付番号の下1桁の当選番号を決定します。
「0」～「9」の番号を付けた10個のボールを、中が見えないようにしてある箱の中に入れ、抽選者が、その箱の中から1個のボールを取り出す方法により行います。当選番号は、そのボールの番号を優先順位第1位とし、以下の優先順位は、その番号に順次1を加えた数とします。なお、この際、「9」の次は「0」とします。
- ③ 次に、申込みの整理順による不公平をなくすため、抜き取りを開始するユニット番号を決定します。
「1」から「4」までの番号を付けた4個のボールを、「1」から「4」までの番号を付けた4個のボ

ールを「赤色(一の桁)」の箱に入れ、それぞれの箱からボールを1個ずつ取り出す方法により行います。

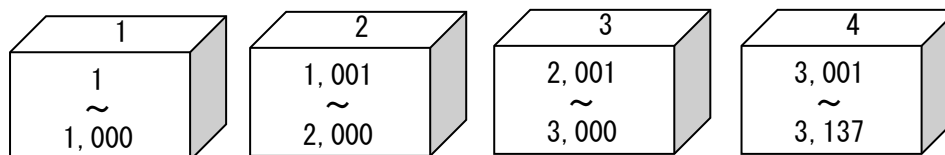
- ④ ③により決定されたユニット番号から、②で決定された当選番号の順に、受付番号の下1桁の番号が当選番号と一致する申込みを順次抜き取り、2,000個目までを当選とします。
- ⑤ 2,001個目以降の申込みは、キャンセル等が生じた場合の補欠とします。

(参考) 抽出例 (令和2年桜の通り抜け記念メダル (銀))

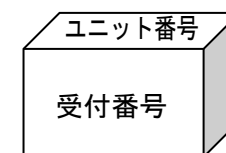
※令和2年桜の通り抜け記念メダル (金・銅)、桜の通り抜け2020プルーフ貨幣セット、令和2年桜の通り抜け貨幣セット、令和2年花のまわりみち貨幣セットについても、同様の方法により抽選を行います。ただし、令和2年桜の通り抜け記念メダル (金) は、申込件数が1,000件に達していないことから、ユニット番号の抽選は行いません。

① すべての申込みに1から順に連番を振り、1,000ごとを1ユニットとします。

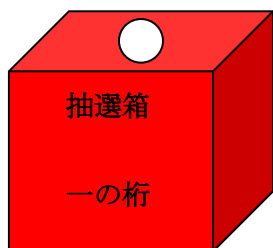
申込件数 3,137件
 (申込個数 3,446個)
 抽選対象数 2,000個
 当選倍率 1.72倍



(凡例)
 申込みの束 (ユニット)
 のイメージ図

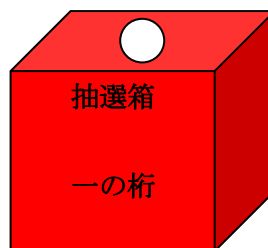


② 当選番号を決定するために、「赤色 (一の桁)」の抽選箱から1個、ボールを取り出します。



⑨ [当選番号の優先順位: 9、0、1、2、3、4、5、6、7、8]

③ また、抽出を開始するユニット番号を決定するため、「赤色 (一の桁)」の抽選箱から1個、ボールを取り出します。



①

④ 抽選されたボールの番号により、ユニット番号 $\boxed{1}$ 番から、順次、下1桁 $\boxed{9}$ 番の申込みを抜き取ります。

1	2	3	4
1 ~ 1,000	1,001 ~ 2,000	2,001 ~ 3,000	3,001 ~ 3,137
9	1,009	2,009	3,009
19	1,019	2,019	3,019
29	1,029	2,029	3,029
...
999	1,999	2,999	3,129
計 100 個	計 100 個	計 100 個	計 13 個

⑤ 下1桁 $\boxed{0}$ 、 $\boxed{1}$ 、 $\boxed{2}$ 、 $\boxed{3}$ 、 $\boxed{4}$ 番の申込みについても、同様に抜き取ります。

下1桁 $\boxed{0}$: 313個、下1桁 $\boxed{1}$ ~ $\boxed{4}$: 各314個

小計 313個
小計 1,569個
合計 1,882個

⑥ さらにユニット番号 $\boxed{1}$ 番から、順次、抽選対象数の2,000個となるまで、下1桁 $\boxed{5}$ 番の申込みを抜き取ります。

1	2
1 ~ 1,000	1,001 ~ 2,000
5	1,005
15	1,015
25	1,025
...	...
995	1,175
計 100 個	計 18 個

小計 118個
累計 2,000個

⑦ ユニット番号 $\boxed{2}$ 番の受付番号 $\boxed{1,185}$ 番以降の申込みについては、キャンセル等が生じた場合の補欠となります。

※抽選方法の説明を行う資料のため、1件ごとの申込個数は1個と仮定している。